

学校だより

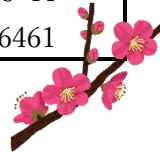
学校評価臨時号

令和7年 2月21日 発行

新潟県立高田特別支援学校

上越市寺町 1-15-44

電話 025(524)6461



令和6年度 学校評価（年間）アンケートの結果をお伝えします。

2学期末に実施いたしました学校評価（年間）アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。各学部、寄宿舎並びに学校全体の取組状況について保護者の皆様よりたくさんの御意見をいただきました。いただいた御意見と、職員アンケートの結果を受け、職員で検討し、それぞれ「よい点」、「要望や改善すべき点」についてまとめました。

学校全体の取組

<よい点>

- 保護者の方からは、「学校の取組や子供の様子がよく分かる。」「いじめのない学校づくりに取り組んでいる。」について、昨年度よりさらに高い評価をいただいた。「いじめのない学校づくり」については、職員も高い意識をもって取り組んでおり、学部・寄宿舎・家庭と連携して迅速に対応することを徹底してきた成果を認めていただけたのではないかと。一方で、全体的に少数ながらC評価もある。今後は、さらに一人一人に寄り沿った支援を行い、様々な場面で保護者との連携を深める必要がある。
- 職員の「個別の指導計画をもとにした情報交換により、学校・寄宿舎間での目標や指導の手立ての共有を図ったり、進級時の学年・学部間での指導に連続性を持たせたりした。」、保護者の「学年間や学部間、学校・寄宿舎間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。」の評価点が、昨年に引き続き前年度より上がっている。今後も、学部間、学舎間の情報交換を密にしながら、一貫性のある指導を行う。

<要望や改善点>

- △将来の生活や小中高のつながりを意識したキャリア教育
 - キャリア教育に関する項目では、職員の評価点が増加している反面、保護者の評価点は減少している。児童生徒の将来を見据え、学部間のつながりを意識したキャリア教育の一層の推進を図ると同時に、目標の設定や学習内容について工夫したり、保護者と情報共有したりしていく。
- △施設設備の改善と、教室・駐車場の確保
 - 今年度、下水道の配管入替えやプールの改修、暖房設備の一部入替え（2年目）を行った。小学部棟のトイレの改善や、特別教室への冷房設置、駐車場の確保等については、引き続き県への要望を続けていく。教室の不足については、小中高等部棟に固定せず、学校全体での校舎の利用、教室配当の工夫を予定している。
 - 駐車場については、校長会やPTA、後援会にも協力いただいて、繰り返し県に要望しているところだが、すぐに解決することは難しい状況である。引き続き、構内徐行、安全運転、周辺道路通行のお願いへご協力いただきたい。

小学部

<よい点>

- 3つの重点項目すべてにおいてほとんどの職員が、支援の工夫をして取り組めたことと、児童たちの変容や成長を実感することができた。児童一人一人の目標を学級・学年で共通理解し、実態に合わせた教具や方法を工夫して年間を通じてスモールステップで取り組んできた成果と考える。
- 特に、「児童が自分の仕事を理解し取り組むための支援の工夫」がよくなされた。この項目は昨年度の改善事項であり、方策を全職員で話し合い取り組んできた成果が表れたと考える。
- 保護者の方からもすべての項目において良い評価をいただき、互いの情報交換が密にできたと感じる。「学校で身に付いた挨拶や身の回りのことが、家庭や事業所でもできるようになった。」という嬉しい声も複数いただいた。今後とも家庭と課題を共有しながら連携して支援にあたっていきたい。

<要望や改善点>

- △「学習や給食などの準備や片付けの場面の意図的な設定」について、具体的に実践できたと感じる職員が多かった反面、工夫が足らなかったと評価する職員も複数あった。学級ごとの話し合いを設け、良い実践例を学部全体で共有し、今後の取り組みに生かせるようにした。

中 学 部

<よい点>

- 「話の聞き方や意思表示の仕方、依頼や報告の仕方の段階的な指導」について、作業学習を参観された保護者から言葉遣いや立ち位置等、丁寧に指導をしていたとの評価をいただいた。また、絵カードを用いて自分の気持ちを伝えたり、言葉で伝えたりする学習をしていることについて評価をいただいた。今後も継続して指導していく。
- 「社会自立に向けた進路学習」では、2、3年生で行う職場体験の前段階として、高等部の協力を得て高等部の授業や市内事業所の見学の機会を設定した。事業所の方からは、「働くこと」「働く上で大切なこと」についてお話していただき、生徒のみならず職員にとっても良い機会となった。

<要望や改善点>

- △「見通しがもてるようにするための視覚支援や自分が役に立っている（自分の役割や仕事）ことを実感できるような振り返りの場の工夫」について、評価点がやや低かった。
→お子さんの支援についてご希望やご提案がございましたら、担任または学部の職員に伝えてください。一緒に考えていきたいと思います。

高 等 部

<よい点>

- 「日常生活を営み、社会参加するために必要な知識や技能を身に付けること」について、家庭生活の時間に衣食住の基本的な内容について、計画的に指導し自立に向けて必要な力の育成に取り組んだ。保護者から「上手に声掛けしてくださりできることが増えました。」との声があった。
- 生徒の実態を踏まえて、学習活動に参加できるよう個にあった対応を行った。「その日その時の体調によって、声掛けや対応をしてくれている。」「落ち着く時間を設けて見守ってくれている。」「いろいろな対応を検討していただき、ありがとうございます。」との評価をいただいた。

<要望や改善点>

- △学校から保護者への連絡が薄い。また、連絡帳が機能していないと思うこともある。
→ご不快な思いを抱かせてしまい、大変申し訳ありませんでした。学校での出来事について、丁寧な説明や情報提供を心掛けます。
保護者からの連絡帳の連絡事項については、確実にメモやコピーを取り、学級・学年、必要に応じて学部や管理職も情報共有いたします。また、生徒の支援を大切にするため、毎日の学校での様子について細かに記入することは難しいですが、下校時などにお伝えしたいと思います。御理解のほどよろしく願いいたします。

寄 宿 舎

<よい点>

- 「起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した。」について、手順表を作成したり支援ツールを工夫したりし、場面を捉えた指導を継続することが成果として表れ、保護者の方からも「一人で頭や体を洗えるようになった。」「入浴時の目標をしっかりと立ててもらっている。」など、良い評価をいただいた。引き続き将来の生活に必要な技能を身に付けられるよう家庭と協力し支援していく。
- 「挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した。」について、トークンやメダルを活用し繰り返し指導してきたことで、自発的な挨拶ができる舎生が増えた。保護者からも「あいさつが素晴らしい。」との声が聞かれた。

<要望や改善点>

- △「運動する場を設定した」について、職員の評価点が低かった。
→運動については一部の舎生のみ活動が多かった。早い下校の日なども利用して体を動かす活動を意識して取り入れていきたい。

令和6年度学校評価 保護者アンケートの結果（評価点）

◆評価点は、A（そう思う）・B（どちらかと言えばそう思う）・C（どちらかというと思わない）・D（そう思わない）をそれぞれ4点・3点・2点・1点に換算し、その平均を表しています。当校では、3.5点以上の評価点をいただくことを目標とし、到達できなかったものについては、改善に努めてまいります。

【主に運営活動に関する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標・方針	①グランドデザインにある教育目標や、学部の目標は、子供の実態や保護者の願いに合ったものである。	47人	37人	1人	0人	85人	3.54
お子さんの様子	②お子さんは楽しく（充実した）学校生活を送っている。	58人	22人	5人	0人	85人	3.62
	③お子さんを本校に入学させて良かった。	69人	14人	1人	1人	85人	3.78
校内連携・一貫性	④学校は、一人一人の将来の生活や小中高のつながりを意識して、適切な目標を立てたり、必要な学習を行ったりしている。	47人	30人	8人	0人	85人	3.46
	⑤学年間や学部間、学校・寄宿舎間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。	50人	30人	5人	0人	85人	3.53
専門性向上	⑥職員は、お子さんの障害について理解し、その特性をふまえた適切な指導や支援に努めている。	59人	21人	5人	0人	85人	3.64
地域・外部関係機関との連携	⑦各種たよりや授業・行事参観、ホームページ等による情報発信で、学校の取組や子供の様子がよく分かる。	58人	26人	1人	0人	85人	3.67
	⑧学校は、交流および共同学習や居住地校交流（小・中学部のみ）の実施、地域資源の活用を積極的に行っている。	45人	33人	7人	0人	85人	3.45
	⑨職員は、保護者や地域に対して誠意をもって対応している。	61人	20人	3人	1人	85人	3.66
施設・設備	⑩学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている。	29人	38人	16人	2人	85人	3.11
いじめ対応	⑪学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	53人	29人	3人	0人	85人	3.59

【小学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	身近な人に挨拶をしたり、自分の気持ちを伝えたりする力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①場に応じた挨拶ができるようにするための働きかけや支援の工夫を行った。	24人	2人	0人	0人	26人	3.92
	②感謝や依頼など、自分の気持ちを伝えたり、友達とやりとりしたりする場を意図的に設けて指導した。	24人	2人	0人	0人	26人	3.92
目標2	日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	③食事や排泄、衣服の着脱などの技能を高めるための支援を工夫した。	24人	2人	0人	0人	26人	3.92
	④学習や給食などの準備や片付けの場面を、意図的に設けて指導した。	24人	2人	0人	0人	26人	3.92
	⑤掃除や整理整頓の技能を身に付けるための支援を工夫した。	24人	2人	0人	0人	26人	3.92
目標3	自分の仕事分かり、進んで取り組む力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥児童一人一人の仕事を明確にし、その内容や方法を理解できるようにするための支援を工夫した。	23人	3人	0人	0人	26人	3.88
	⑦自己有用感を高めるための評価・称賛を工夫した。	23人	3人	0人	0人	26人	3.88

【中学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	集団生活で必要とされるルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶や年齢に応じた人との関わり方を学ぶ場を計画的に設定した。	19人	8人	2人	0人	29人	3.59
	②話の聞き方や意思表示の仕方、依頼や報告の仕方を段階的に指導した。	17人	11人	1人	0人	29人	3.55
	③時間やルールを意識できるようにするための視覚支援や指導場面を工夫した。	17人	11人	1人	0人	29人	3.55
目標2	日常生活を営み社会参加を目指すための基礎となる知識や技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④身辺処理や身だしなみ、整理整頓に関する的確な実態把握と、それに基づく日常的な指導を行った。	20人	7人	2人	0人	29人	3.62
	⑤買い物や交通機関、各種施設の利用等に関する技能を体験的に学ぶ場を設定し、段階的に指導した。	18人	10人	1人	0人	29人	3.59
目標3	自分の役割を自覚し、責任をもって仕事をやり遂げる力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥社会自立に向けた進路学習や様々な場面での役割を設定した。	18人	9人	2人	0人	29人	3.55
	⑦見通しがもてるようにするための視覚支援や、自分が役に立っていることを実感できそうな振り返りの場を工夫した。	17人	9人	3人	0人	29人	3.48

【高等部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	就労に向けたルール・マナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①Aコース：職員は、集団生活に必要なコミュニケーションスキル（挨拶・意思表示）ができるようになるための日常的な指導と支援を工夫している。	6人	4人	0人	0人	10人	3.60
	②B・Cコース：職員は、集団生活に必要なルールやマナーを守って学校生活を送ることができるようにするために、日頃から指導や支援を工夫している。	11人	8人	1人	0人	20人	3.50
	③B・Cコース：職員は、お子さんが時や場面にに応じて他者と適切な関わり方ができるよう、日頃から指導や支援を工夫している。	10人	9人	1人	0人	20人	3.45
	④Bコース：職員は、相手を意識した話の聞き方や、適切な意思表示の仕方ができるようになるための、場面設定や支援を工夫している。	8人	5人	1人	0人	14人	3.50
	⑤B・Cコース：職員は、困ったときに助けを求められるようにするための、場面設定や支援を工夫している。	12人	7人	1人	0人	20人	3.55
目標 2	日常生活を営み、社会参加するために必要な知識や技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥共通：職員は、衣食住に関する実践的な力を身に付けるための学習活動や実践場面を工夫して指導している。	17人	12人	1人	0人	30人	3.53
	⑦共通：職員は、買い物や公共交通機関、各種施設の利用に関する技能を体験的に学ぶ場を設定している。	17人	11人	2人	0人	30人	3.50
目標 3	自分の役割に責任をもち、働き続ける力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑧共通：職員は、社会の一員として自分の役割を果たせるように、学級の諸活動や作業学習等の場面における役割を設定している。	19人	10人	1人	0人	30人	3.60
	⑨共通：職員は、お子さん自身が課題を意識できる目標設定を行っている。	16人	14人	0人	0人	30人	3.53
	⑩共通：職員は、お子さんがやりがいを実感できるような活動を設定し、振り返りを行うなど工夫して取り組んでいる。	17人	12人	1人	0人	30人	3.53

【寄宿舎に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	集団におけるルールやマナーを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した。	29人	11人	0人	0人	40人	3.73
	②人と話すときの適切な距離や言葉遣いに関して機会を捉えて指導した。	29人	10人	1人	0人	40人	3.70
	③共同生活におけるマナーや身だしなみの定着に向けて支援した。	31人	9人	0人	0人	40人	3.78
目標 2	将来の生活に必要な技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した。	32人	8人	0人	0人	40人	3.80
目標 3	健康で規則正しい生活を送る力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑤規則正しい生活の習慣化に向けた支援の工夫と保護者との連携を行った。	30人	10人	0人	0人	40人	3.75
	⑥一人一人の余暇活動の幅を広げたり深めたりするための活動を提示した。	26人	14人	0人	0人	40人	3.65
	⑦運動する場を設定した。	22人	14人	4人	0人	40人	3.45

今年度も、Googleフォームを活用した学校評価アンケートを実施させていただきました。業務効率化につながった反面、全体の回答率が54.5%ということで、より多くの皆様から御意見を集める点で課題が残りました。来年度は、締切前に改めて御案内するなど、回答率の増加に向けて工夫したいと思っております。

教育活動においては、今年度初めて、学習発表会を平日分散開催とさせていただきました。保護者の皆様にはお忙しいところ御都合をつけて御参観いただきありがとうございました。皆様の御協力により、各学部の児童生徒は練習の成果を存分に発揮し、生き生きと発表することができました。また、これまで寄宿舎食堂で行っていた展示は、規模を縮小しながらも、出入口横の相談室を会場とすることで、これまで以上の保護者の方々に御覧いただくことができ、寄宿舎での活動について広く知っていただく機会となりました。

施設設備に関しては、今年度も引き続き学校、PTA、後援会から県への働きかけを続けて参りました。今年度は、プールの改修や暖房設備の設置、下水道管の入替え等を実施しました。日頃から御不便をおかけしている駐車場に関しましては、早急な解決は厳しい状況ですが、これからも繰り返し働きかけて参ります。

今後もお気付きの点がございましたら、随時お話を聞かせてくださいますようお願い申し上げます。